

美羽

2026年
(令和8年)
No.47



Be the ONE 羽衣国際大学
羽衣学園短期大学同窓会

会長ご挨拶



美羽会会長
短大 13 期英文
花川 賀美

事業となりましたことをここに改めてご報告申し上げます。

一方で、世界情勢は依然として不安定さを増しており、社会や教育を取り巻く環境も大きく変化しております。このような時代にあっても同窓会は、世代差による価値観の違い等課題もごさいますが、本来の目的を見失うことなく、時代に沿った活動の在り方で会員を繋ぐ交流の充実を目指してまいります。

引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学長ご挨拶



羽衣国際大学
学長
中川 恵

美羽会の会員の皆様、平素より大学運営等において大変お世話になっております。

羽衣国際大学学長の中川恵です。おかげさまで男女共学の四年制大学となつて、無事二四回目を春を迎えることとなりました。

去る三月一八日の卒業証書・学位記授与式では、現代社会学部一四五名、人間生活学部九三名、合計二三八名が社会へと巣立ちました。この学年は二年次以降には通常の大学生活が戻り、昨年

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

美羽会は本年会員数二万人を超え、会報「美羽」も海外十三か国へお届けするに至りました。

六十二年の間、美羽会が存続し発展を続けられますのも会員の皆様、母校教職員、関係各所の皆様のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年は、特に母校支援の二環として注力してまいりました「留学生日本語弁論大会二十周年記念大会」の共催や「美羽宝生会十周年記念発表会」を盛大に開催することができました。多くの方々のご尽力により、いずれも実り多い節目の

五十五年ぶりに大阪で開催された万博にも、制作した映像の上映やブルガリア館のファッションショーへの参画など、様々な形で関わりました。

この大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、自然との共生や世界と共創することの大切さに焦点が当てられました。

しかし、多くの「いのち」を育むこの地球において、気候変動は肌で感じる事ができるほど、差し迫った危機となり、ウクライナ、ガザを初めとする戦争は、停戦に向けた様々な取り組みはなされているものの、恒久的な平和を保障できるような出口はまだ見えていません。戦争ほど、人の命を奪い、環境破壊によつて生態系全体をも破壊するものはありません。にもかかわらず、先月の末には、新たにイスラエルとアメリカによるイランへの攻撃が始まりました。この春に卒業した学生の中には、堺市が主催した堺大空襲語り部プロジェクトに参加し、戦後八十年を過ぎ歴史の証言者が少なくなっていくなかで、卒業後

も次世代の語り部としての役割を担う学生もいます。

美羽会様からご支援いただいております留学生日本語弁論大会や英語スピーチコンテストなどを通して、学生たちは異文化をより深く知り、自らの世界を広げています。異文化に対する知識や他者を思いやる想像力を備えてこの春巣立った卒業生たちは、「いのち」を大切に作る基盤となる平和を構築できる人材として、これからの共生社会で活躍してくれることと期待しています。

そして今春、二学部併せて三四三名（三年次編入生六名含む）と、四年制大学開学以来の多くの新入生を迎えました。彼らが本学において小規模ながら「世界を感じる大学」となるよう、これからも一人一人の学生の夢を、教職員一丸となつて支援いたします。美羽会の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

お元気ですか

人生百年時代に



羽衣国際大学
元学長
三村 正治

羽衣国際大学の学長を退任して十五年近くたち、今年八十三歳になりました。お陰様で健康も回復し大変元気に過しております。退任後ご縁があつて『D日本語学校』の顧問をしつつ「新聞読解」の授業を大学・大学院進学希望の留学生に講義、指導して若い人たちとの交流を続けていたのが「若さを保ち元気に過ごせた」秘訣だと思います。この体験から、「人生100年時代」の過ごし方について考えるところを「美羽会会員ならびに会員予備軍」の若い方たちにお話したいと思ひこの拙い文章を書き始めました。

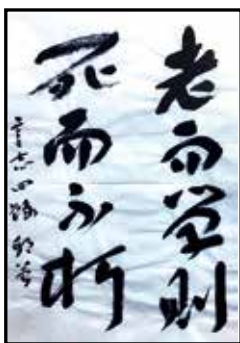
私はかつて関西日中関係学会会長の竹内実先生（京都大学名誉教授、山崎豊子

原作、日中共同制作テレビドラマ『大地の子』の監修者として有名）にお付き合いただいたことがあります。その時「三村さん、学生たちと『言志四録』を授業前に斉唱するといひですよ。緊張した気持ちで授業に入つていける」と教えていただき、日本語学校の授業の時に留学生達と皆で大声で斉唱をしていました。

少而学則壯而有為
壯而学則老而不衰
老而学則死而不朽

少にして学べば壯にして為すあり
壯にして学べば老にして衰えず
老にして学べば死して朽ちず

（江戸時代中・後期儒学者 佐藤一斎作）



関にか
に齋を
分書破
自を発
で分を
作部身
習あり
道ある
書係貼
け

人間の一生は幾つになつても学ぶことが大切である、ということ、学生の年代の者には現在もさることながら卒業後も学問を続けることの重要性を論し、さらに社会人には中年になつても老人になつても学び・探求心を持ち続けることが大事であることを論じています。それは読書でもよし、新たな師についても、AIの活用ももちろんよいでしょう。『リスクリングの勧め』でもあるのです。大きな話になりますが『日本の現下置かれていゝる最大の問題』は『少子高齢化↓人口減少↓生産人口の減少↓国力減退』↓その結果社会保障制度や財政制度の持続性崩壊、安全保障上の国力低下、国際社会での影響力減退等々、目も当てられない日本になつてしまひます。そこで私は、私の現在の立場、体力でできることを実行しようと考えました。「隗より始めよ」で、高齢者が社会に役立つ生き方の手本を示せば良いと思ひながら「老にして学べば」と独り言を独唱してしまひます。

思い出のことごと

——携帯電話のなかった頃のこと



羽衣国際大学
名誉教授

内田 宮子

私が退職してから、早いもので十年余りが経ちました。在職中の、心に残る思い出の多くは、学生たちと行った海外研修の事です。わが校初の海外提携校である米国ノースランド大学での研修中に起こったことです。学生たちとキャンプファイヤーをしていた時に、突然、空が割れて光が降り注ぎ、その光が揺らめき、煌めき、やがて消えました。それは、私や学生たちにとって

では、大げさであるかもしれませんが、神の降臨を思わせるような神秘的な体験でした。その光は、ノーザンライツと言い、オーロラの一種だということを後になって知りました。

また別の時のことですが、ノースランド大学での研修を終えて、私と二十八名の学生たちがサンフランシスコから日本に帰る途中、私たちが乗った飛行機はエンジントラブルのためにサンフランシスコに引き返すことになりました。その後、私たちは航空会社の手配したホテルに行き、翌日を迎えました。チェックアウトの時、学生たちは、フライトの時間が迫ってきていたのですが、ホテルの部屋から、日本の家族にかけた電話代の支払いにとでも手間取っていました。

そして、やつと空港に到着したのですが、もう不要だと思つて搭乗券を捨ててしまった学生が何人かいて、彼女たちは、空港のゲート係に内に入れてもらえませんでした。この分だと、彼女たちは、今日は帰れ

ない、私も彼女たちとサンフランシスコに留まることになると思ったその時、すでに中に入っていた学生の一人が機転を利かせて、航空会社の職員を連れてきてくれたので、全員ゲート内に入ることができました。その他にも、書きたいことがたくさんありますが、字数の都合で割愛させていただきます。

私の近況について述べます。夫は、現在、本の出版を控えているのですが、手が痺れるので、ていねいな文字が書けません。校正の仕事（原稿と照合して文字や内容の誤りを正すこと）ができないので、代わりに私がしています。我が家には愛犬がいます。名前は、「琴」。マルチーズの女の子です。昔は、本当にまんまるな目で、これ以上美しい犬がいるだろうかと思うほどでした。今では、人間に換算すると、およそ七十五歳の老犬です。それでもそのかわいさは少しも変わりません。私がベトナム語の会話の勉強をしている時には、私の相手をしてくれます。いつも聞き役なのですが、

卒業その後



短大 15 期
家政科

畑中 信子
(旧姓 北川)

卒業をし、家事手伝いの後に嫁ぎ、十年前に実家の会社を継ぐことになりました。

突然のこととて、何もわからない中、兄の指導やスタッフにも恵まれ、これまでやってこられました。

七年前、家族が歯科医師でもあり、以前から研究をしている身体機能向上と咬口トレーニングを生かしたデイサービスを開業いたしました。適切な運動量を可能にし、高齢の方々でも筋力・体力の向上を目指していただけるようにお手伝いさせていただいております。

咬口トレーニングは咀嚼することに必要な筋肉を鍛え、咬む力や飲み込む力を向上することができます。

人生百年時代

といわれている現在、大切に想う人達のためにも身の回りのことは自分でし、食事は美味しくいただけたようにしたいと切望しております。



TA DANG NGHIA

タ ダン ギア (ベトナム)

阪南大学 経営学部 経営学科 2年

「平和と留学生の使命」



LE HA CAM TIEN

レ ハ カム ティエン (ベトナム)

追手門学院大学 経営学部 経営学科 4年

「アヒルとして生きる白鳥たち」



LE THI HUONG

レ ティ フォン (ベトナム)

羽衣国際大学 現代社会学部 現代社会学科

経済・経営コース 2年

「幸せとは？」



LE QUOC VINH

レ コック ヴィン (ベトナム)

羽衣国際大学 現代社会学部 現代社会学科

国際英語コース 2年

「人生は一度きり」



HUYNH THI KIM SEN

フユン ティ キム セン (ベトナム)

羽衣国際大学 現代社会学部 放送・メディア

映像学科 放送・メディアコース 2年

「それでも、私はまだ日本にいる理由」



NGUYEN THI HONG NHUNG

グエン ティ ホン ニュン (ベトナム)

羽衣国際大学 現代社会学部 現代社会学科

経済・経営コース 2年

「平和とは戦争がない事？」



NGUYEN NGOC ANH

グエン ゴック アイン (ベトナム)

羽衣国際大学 現代社会学部 現代社会学科

経済・経営コース 1年

「失敗は成功のもと」



PHAM THI HANH

ファム ティ ハン (ベトナム)

羽衣国際大学 現代社会学部 放送・メディア

映像学科 情報システムコース 4年

「日本人は冷たい？」



20周年記念

留学生日本語弁論大会

美羽会共催 (於：羽衣学園講堂)

李 晨 / LI CHEN

リ シン (中国)

大阪公立大学 現代システム科学研究科

大学院生

「努力すればやり直せる社会

——日本で感じた希望」



覃 肖叶 / QIN XIAO YE

シン ショウヨ (中国)

大阪大谷大学 教育学部 教育学科 1年

「完璧じゃなくても、大丈夫

～留学生の自己受容と、

心との付き合い方～」



黄 紀甫 / HUANG JI FU

コウ キホ (中国)

大阪大学 人文学研究科 人文学専攻 大学院生

「日本社会における

外国人の帰属意識の模索」



ANGEL NAOMI SAGALA

エンジェル ナオミ サガラ

(インドネシア)

羽衣国際大学 現代社会学部

現代社会学科 国際英語コース 2年

「人生の季節」



HTET THUZAR

テット ザー

(ミャンマー)

大阪女学院大学 国際・英語学部 1年

「母は一人ではなかった」



WYNE KALAYAR KO

ワイン カリャ コ

(ミャンマー)

大阪女学院大学 国際・英語学部 1年

「一冊のノートから学んだ自由と

思いやり」



ALE MAGAR CHANDRIKA

アレ マガル チャンドリカ

(ネパール)

大阪女学院大学 国際・英語学部 2年

「日本に暮らして感じたこと」



「第20回 留学生日本語弁論大会」の総評について

国際交流委員会委員長 田淵 宗孝



2025年10月11日土曜日、本学にて恒例の留学生日本語弁論大会が開催されました。

今回は20回目の節目を記念して、羽衣学園講堂を会場とし、例年よりも規模を拡大した特別な大会となりました。大学コンソーシアム大阪の加盟校である大阪女学院大学、阪南大学、追手門学院大学、大阪公立大学、大阪大谷大学、大阪大学から計8名、そして本学より7名の合計15名の留学生にご参加をいただき、出身国もインドネシア、ベトナム、中国、ミャンマー、ネパールの5か国に渡りました。規模が大きくなった分、弁論の内容も広がりを見せ、またレベルも高いものとなりました。準備の過程では、本学からの参加学生はもちろん指導スタッフもまた、学外参加の留学生がどのくらい高い弁論スキルを持っているかわからない中で、四苦八苦していたように感じております。

弁論の内容について気づいた点としては以下の2点を挙げたいと思います。これは本学及び学外参加学生双方にいえることがありますが、まず第一に、日本人にはない視点というものを留学生各自が明確に持っていたという点です。日本人が気づきもしなかった「普通」のことも、海外から来た留学生には大きな特徴なこととして見えている。今回敢闘賞を獲得した大阪大学の黄紀甫さんの弁論は、そうした点につき、さらにそれを反照するかたちで自分自身が日本に留学生として存在するということがどういうことなのか、という問いを投げかけていました。単に「みんな違ってそれがいい」という流行の言い回しに流されるのではなく、多文化共生社会という新たな時代の担い手であることを自覚し、そのうえで自分が何者なのかという哲学にたどり着くこと。これは留学という経験をよくよく吟味できないと気付けない視点です。そしてこれは、この時代の「国際大学」の教員として、我々も常に考えていかねばならない問いだと感じました。そして第二の気づきの点は、少なくない留学生が「日本人は冷たい」と感じている、ということです。これは日本人にはない視点というよりは、むしろ「やはりそうか」と再認識した点です。訪日旅行者が増加する以前は、「おもてなし」という言葉が流行ったように、我々は自国のホスピタリティを自画自賛する傾向がありました。ただ、現在それはオーパーツーリズムの問題も引き金となり、排外意識と「おもてなし」が併存する奇妙な時期にあると感じます。旅行者と在住者の扱いが異なるのは欧州諸国でも同様ですが、大学関係者はそれをどう受け止め考えていくべきなのか。これもまた、私が今回の大会で得た学びの一つとなりました。

今年は大きな記念大会となりましたが、また来年も参加したいと言っていた大学もありました。こうしたご縁も大事にしつつ、来年もまたひきつづき第21回目大会の準備をまいります。今後も美羽会の皆様よりご支援ご鞭撻を賜えますと幸いです。



最優秀賞



WYNE KALAYAR KO (右)

優秀賞



NGUYEN THI HONG NHUNG (右)
ANGEL NAOMI SAGALA(左)

敢闘賞



PHAM THI HANH (左)
黄 紀 甫 (右)

観客賞



LE THI HUONG (右)

留学生日本語弁論大会20周年記念大会によせて

共通教育開発センター

センター長 清水 明男



去る10月11日（土）、羽衣国際大学留学生日本語弁論大会は、20周年の節目を迎え、大会に参加した15名の留学生が、自らの留学生生活を振り返り、感じたこと、考えたことについて個性豊かに熱弁をふるい、盛会のうちに無事終了いたしました。

本大会を共催いただいた美羽会の濱下名誉会長・最高顧問、花川会長をはじめ、役員の皆様、大会を支えていただいた関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。この記念すべき大会の運営に関わることができたことを大変誇らしく、うれしく思います。

記念大会の開催は、これまで積み上げてきた19年の歴史の上に、次の20年に向けて新たな1ページを開くものにしたい、という「美羽会の思い」がありました。その思いを少しでもかたちに残そうと、本大会は、大学コンソーシアム大阪に協力を依頼し、会員大学に広く参加をよびかけさせていただきました。その結果、大阪大学、大阪大谷大学、大阪公立大学、大阪女学院大学、大手門学院大学、阪南大学の6大学から、計8名の留学生の応募があり、本学の留学生7名の計15名が出場することになり、参加大学数、参加留学生数とも過去最多となりました。また、出場者はもちろん、来場者の皆様に少しでも日本の伝統文化に触れ、楽しんでいただくため津軽三味線奏者の久保田祐司氏をお招きし、熱演を披露いただき、大会に

花を添えていただきました。

大会終了後、出場者や関係者によるささやかな打ち上げ会が、中高食堂「いくんどキッチン」で行われたことも記念大会ならではの忘れられない思い出となりました。弁論を終えた出場者や関係者が少しでも交流する機会があればいいな、との思いは以前からございましたが、濱下名誉会長から「これまで19年間、この羽衣国際大学を代表するイベントのタスキをつないできてくれた教職員、大会を運営してくれた関係者への感謝と、これからもこのタスキをつなぎ続けてほしい。との願いが関係者に伝えられたことは大変意義深いことだったと思います。なぜなら、このイベントは、濱下会長（当時）の「留学生が輝ける場所を作ってほしい！」という19年前の熱い思いから始まったものだからです。

結びに、出場してくれた15名の留学生に心から拍手を送りたいと思います。この記念大会の成功は、皆さんの勇気と熱意と日々の研鑽の賜物です。

受賞した人も受賞しなかった人も、ほんとうに素晴らしい弁論でした。これからの日本と世界の未来は、みなさんのような若い人たち、熱意溢れる留学生と日本人学生が築いていく共生社会です。皆さんに心より感謝とエールをおくりたいと思います。ありがとう！皆さんのこれからの留学生生活が辛い多く、実り多いものとなりますように！！



第20回 留学生日本語弁論大会に寄せられた感想

- ・ 学生が熱心に取り組む姿をみる事ができて、嬉しく思います。
- ・ 一人発表が終わるたびに質疑応答時間が欲しい。内容がとても感銘を受けたものばかりで質問したいことが多すぎた。
- ・ 記念大会とあって、例年以上の発表者数もありとても聞き応えのある弁論大会でした。
- ・ 出場学生のそれぞれの想いが伝わり、大変勉強になりました。
- ・ 留学生の皆様の日頃の生活やご苦勞、勉学や考え方を知る良い機会となりました。日本語習得についても感心した次第です。日本での留学生生活を充実して頂けたら幸いです。
- ・ 日本に来てさまざまな困難があっても負けずに、言葉や文化も違うのに頑張っている話を聞き、感動しました。
- ・ 留学生の日本に対する感性を聞いて理解しなかった。自身の視野を広げる事が出来ました。高校生に聞かせてあげたいです。
- ・ 留学生の日本語能力の向上と異文化交流のために貴重なイベントを開催していただき、心より御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 非常に感動しました。留学生の日本での生活や日本語学習への血のにじむような努力を感じ、自分の言語学習への大きなモチベーションになりました。彼らがこのような大会やアルバイトを通じて日本に貢献してくれるように、私も頑張らなくてはならないと感じました
- ・ 日本人より日本の文化や色々なことを調べて、日々の研鑽を重ね多くの学びを得て発表をすることは緊張を伴うことと思いますが、留学生の日本語弁論大会に出場されとても立派だと思いました。
- ・ 忘れていた気持ちを思い出し、とても感動しました。
- ・ とても素晴らしい。もっと対外的に周知して欲しい。
- ・ みなさん一生懸命日本語を勉強され、色々苦勞もあつた中で体験談など発表されて感動しました。
- ・ 20周年ならではの規模で、よかったです。
- ・ これからに向けての新しいことを学べ、様々な角度から物事が見られるようになったと思います。これを糧に色々な人と話し、知識や様々な角度から考えを見つけて行きたいと思いました。
- ・ 今日で2回目ですが、とても皆様が勉強してきて、努力されているのが表れていました。よかったです。つまることもいいと思います。三味線とても良かったです。
- ・ 中国の男性の日本語がキレイに話されていました。今日の弁論大会を聞くことができてよかったです。
- ・ 初めてこのようなスピーチ大会を見ましたが、とても感動しました。参加者の日本語が上手で、内容も興味深かったです。会場の雰囲気も温かく、楽しい時間を過ごすことができました。
- ・ 今年も素晴らしい内容、そして雄弁に感謝。元気いっぱい日本の良いところやリスクなど、よく勉強させてもらいました。留学生、どの国の若者も素晴らしいですよ！！日本の学生たちも、他国とコミュニケーションの良さを学びながら、日本の国の成長を願っております。私たち、シニアも若者に応援したいと思いました。（している！）女性方のコスチュームの素敵さに感動しました。
- ・ 皆さん来日1～2年で、日本語うまく話すごいです。



感慨と感謝を込めて：第20回 留学生日本語弁論大会 拝見記

キャリア支援課課長 巖 銘

この度、光栄にも美羽会のご招待を受け、来賓として「第二十回留学生日本語弁論大会」に参加させていただきました。この場を借りて、美羽会のご厚意に心より感謝申し上げます。

私にとって本大会は特別な存在です。2006年に美羽会の発案によりスタートした「留学生日本語弁論大会」。その立ち上げから第十一回まで、運営の主担当として青春を捧げたと言っても過言ではありません。よって、現在の大会の姿を拝見し、感慨無量の思いに浸っております。

第1回大会を始めた頃、手探りの中でいかにこの場を成功させるか、ただその一心で奔走した日々が蘇ります。しかし、今の弁論は、テーマの深さ、日本語の表現力、そして何よりも留学生一人ひとりの自信に満ちた姿勢において、当時の水準を遥かに超える、圧巻の完成度でした。

これは、大会を継続し、常に質の向上に努めてきた歴代及び現役担当者の情熱と努力、そして美羽会をはじめとする皆様の長年の温かいご支援以外の何物でもありません。大会の「創設期」を担った一人として、この素晴らしい発展を目の当たりにし、深く感謝と敬意を表する次第です。

今後、この意義深い大会が末永く続き、多くの留学生が自分の言葉で、異文化の中で奮闘するリアルな経験を、日本で直面した課題へ真摯に向き合う姿等を語る場として輝き続けることを切に願っております。

私も一卒業生として、また大学の一職員として、微力ながら大会の発展を支えてまいりたいと存じます。

美羽会の今後のご活躍と、会員皆様のご健勝を祈念し、結びの言葉とさせていただきます。



第20回 留学生日本語弁論大会について

学生支援課課長 山出谷 有子

2025年に留学生日本語弁論大会開催二十周年記念大会が開催されましたこと、大変嬉しく思っております。振り返れば、二十年前、私が留学生担当をしておりました時、留学生への支援について当時の国際交流委員長と共に同窓会へご相談させていただいたことが始まりでした。

その後、美羽会から多大なるご支援を賜り、今日まで大会を継続して開催できましたこと、関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

この二十年間、学生、関係団体、教職員が一丸となって取り組み、継続してきた本大会は、他大学にも誇れるものと感じております。現在は大阪コンソーシアム加入大学からもご参加いただくことができ、学生にとって良い刺激となり、発表のレベルも年々向上しているように感じております。

また、毎年の開催にあたっては、エントリー受付から個別指導、会場設営、審査方法、審査中の運営に至るまで、多くの方々のご協力により支えられていることに感謝申し上げます。

今後もこの大会が、学生たちの成長と国際交流の場として、さらなる発展を遂げることを願っております。



出場者の皆様は思いを届けるために努力を積み重ね、立派に成果を発揮されました。関係者の皆様のご理解とご尽力のおかげで母校と共に二十年の歩みを刻むことができましたことに厚くお礼申し上げます。

十周年記念

令和7年9月28日(日)
於 香里能楽堂



美羽会五十周年を祝するために、羽衣学園の講堂で美羽会様の主催で開催した「新作能オセロ」は、とても有意義で大きな催しになりました。その際には、記憶に新しいものがたくさんあり、その際に「能について知識を拡げよう」と立案して作ってくださった「美羽宝生会」も十周年となりました。

この度は、その記念として大阪府寝屋川市にある公益財団法人友愛会香里能楽堂に於いて賑やかに記念発表会が開催されました。

香里能楽堂は私の実家であり、美羽宝生会や羽衣国際大学能楽部の練習や合宿にもお使いいただいた思い出を大事にしていただき、記念の発表会を開催されたことを嬉しく、また、感謝申し上げます。

狙いの一つであった、美羽宝生会や能楽部の同窓会の様にもなり、関西はもちろん、関東や韓国からの参加もあり、楽しく充実した舞台となりました。

当日参加できなかったメンバーを

辰巳 満次郎

美羽宝生会十周年に寄せて



短 26期 阪本高子

舞囃子「まいばやし」は、能の演目の中で、舞と、結に演奏される音楽の部分です。楽器は、笛、大鼓、小鼓、太鼓が使われます。能の物語の雰囲気を作り、舞台を盛り上げる役割を果たしています。

含めて、この十年の間の会員の舞台姿、その前からの学生さん時代の舞台姿が思い浮かばれ、感無量となりました。

発表の場があつてこそ、上達もすれば、得るものも大きくなります。舞台上に上がるといことは、経験した方ではないと解らないことが沢山あります。流石に「羽衣」は、皆様しっかりとしていただけた次第でございます。

普段お稽古をなさっている方でも、「羽衣」の「東遊びの数々に」くらはは語る、という日が来るのをお待ちしております!!

美羽会六十周年及び、美羽宝生会十周年を心よりお祝い申し上げますと共に、益々のご発展を祈念しております。



短 3期 濱下恭子

この度美羽宝生会設立十周年を迎えることが出来ました。何よりこの会を立ち上げ今日の発表の礎を導いてくださった濱下名譽会長へ心から感謝申し上げます。記念発表会には多くのお客様にお運びいただき、辰巳満次郎先生・辰巳孝弥先生・辰巳大二郎先生に仕舞をご披露していただき、盛況の中、美羽宝生会十周年記念発表会の幕を閉じることができました。

短15期 一筆佳子

この度の記念の会にあたり、今日まで関宝連において共に舞台上に立たせていただいた京都大学、神戸大学の皆様にご披露いただきました。

おかげさまで十周年記念の会が一層華やかになりました。

招待仕舞

神戸大学

「嵐山」

大橋 岳

「田村」

加藤 春哉

京都大学

「鞍馬天狗」

「田村」

黒澤 春奈

「蟬丸」

浦井 智裕

「大江山」

早川 泰平

「膏葉煉」

根本 千春

狂言

神戸大学

「膏葉煉」

ブルケマキシモ

美羽宝生会

羽衣国際大学 学長

中川 恵

美羽宝生会十周年、心よりお祝い申し上げます。辰巳満次郎先生には羽衣国際大学の学生、卒業生への長年の温かいご指導に深く感謝申し上げます。美羽会様にも、在学生を含め日頃よりご支援いただき、厚く御礼申し上げます。昨年の訪日外国人は約3700万人で過去最高となり、今年はさらに増加が見込まれます。留学生も33万人に達し、本学でも現在10を超える国々から学生を迎えております。彼らが日本を代表する古典芸能である能を体験し学べる機会をいただいていることは、大きな名誉です。異文化同志が尊敬・理解を深めることで新たな文化が生まれます。その貴重な場を美羽宝生会として卒業後も続けてこられたことに深く敬意を表します。

次の10年のさらなる発展を心より祈念いたします。



狂言

狂言(きょうげん)は、能と同じ能舞台で演じられる、日本の伝統的な喜劇です。能が幽玄で深い精神性を重んじるのに対し、狂言は日常の生活や人間の愚かしさをユーモラスに描く、親しみやすい舞台芸能です。



松田久雄(元教授)
ブルケマキシモ(神戸大学留学生)

狂言「菅葉煉」



短13期 松川由紀子



羽衣国際大学名誉教授
泉紀子

仕舞「草紙洗」



卒業留学生 朴 成均



廣橋容子(元教授)

仕舞「島追」



短15期 一筆佳子



四大12期 河本真奈

仕舞「松虫」



連吟「羽衣」

この度は美羽宝生会十周年誠にありがとうございます。会の立ち上げよりお稽古のお手伝いをさせて頂き、あつという間に十年の歳月が過ぎたのだと実感いたしました。会当日には、発足当初の学生の方が、立派な社会人になられ、久しぶりに舞台上で舞われていた姿は遅く、また普段からお稽古修練積まれた方々は、舞囃子に挑戦され、稽古を始められた時から格段に上達され、舞台に向き合う姿勢は素晴らしい限りでございました。見所には、舞台にはでられなかったですが、懐かしい顔ぶれの方々が応援に駆けつけてくださった事も、大変嬉しかったです。またこれをきっかけにお稽古再開や、能舞台に足を運んでくださることを願っております。今後、お稽古は優しく楽しんで頂けるように勤めたいと思います。濱下様はじめ、会の運営にご尽力賜りました全ての方々に感謝と、美羽宝生会の益々の発展を祈念申し上げます。

辰巳大二郎

仕舞

能の舞の要点だけを抜き出し、謡(うたい)に合わせて簡略に舞う形式のことです。舞囃子が「舞+囃子(楽器)」であるのに対して、仕舞は楽器を伴わず、地謡(コウラス)だけで舞います。

細川 美千子 羽衣国際大学12期

私は大学1回生の時に入学しました。能楽に興味があったわけではなく、軽い気持ちで体験に伺うと、当時の先輩や先生の押しに負け、いつのまにか入学していました。

2回生からは部長に任命して頂きました。今までの自分の人生において、引つ込み思案で人を引つ張っていくことが苦手な自分にとって非常に大切な経験でした。

当時は小規模なサークルだったので、部に昇格させるために一生懸命頑張りました。

現在、結婚を機に千葉で生活をしています。普段は東京の鳩森八幡神社で満次郎先生にご指導頂いています。舞台当日は久しぶりにお会いできた方もたくさんいて、学生時代のことを思い出し、楽しかった日々のお稽古、大変だった合宿や発表会を思い出し、どこか切なくも懐かしい気持ちになりました。

私にとって能楽部で過ごした時間は人生の大きなターニングポイントです。

大学を卒業して十年経ちますが、今もなお稽古を続けているのは、学生時代の思い出が蘇る大切な時間だからです。

今後二十年、三十年、私がついていられるその日まで続けていきたいと思っています。

見通知行 羽衣国際大学1期

初めて美羽宝生会にお手伝いで参加しました。能について知識がない私ですが皆さんの発表を拝見し、伝統芸能の深さも表面的ではありますが感じたように思います。

皆さんの発表をカメラ撮影する事が今回、私の役目だったので「どうしたら、ちゃんと撮影できるかな?」と考えて撮影をしていましたが素人に上手くできるはずもなく同じ映像ばかりになったような気がしています。改めてプロは凄いなとも思いました。

能の空気感は?と聞かれても正直、分からないですが囃子の音や先生方の声の大きさや発音の違いは体感で伝わるものなので分かったような気がします。

ただ、社会人になって何かの目標に向う事は毎日を工夫しながら生活をする事だと私は思います。その事を考え、今の自分に置き換えると本当に発表された方々は凄いなと思いましたし私も今、社会人サッカーのチームに所属していますが年々、自分が思ったプレーは出来なくなっています。それでも、好きな事を一週間の中の一日に注ぐ事は心のリフレッシュになっているので共感を得る部分はありません。

好きな事を続ける素晴らしさ”今回で感じる事が出来ました。

結びに

美羽会名誉会長・羽衣学園理事

濱下 恭子



社会人になり、それぞれ異なる環境に身を置き、仕事や家事に追われる中にありながら能を愛する心を絶やすことなく十年の歳月にわたり先生方のご厚情をいただきながらこの日を迎えることができ、感慨もひとしおでございます。

ひとえに辰巳満次郎先生、辰巳二郎先生の長年にわたる熱意溢れるご指導の賜物と感謝申し上げます。「初心忘るべからず」の教えを胸に今後も謙虚に学び、なお一層精進してまいります。この能楽の世界へ最初に私たちを導いてくださいました羽衣国際大学名誉教授・泉紀子先生に深く感謝申し上げます。

第7回 英語スピーチコンテスト

美羽会共催

今回の大会には12名が出場し、例年より多くの日本人学生が参加しました。年々スピーチのレベルが向上し、さらに内容に合わせたコスプレや衣装で会場を大いに盛り上げました。

昨年の日本語弁論大会で最優秀賞と観客賞を受賞した NGUYEN Ngoc Tu さんが今年も本大会でW受賞の快挙を、また、LE Quoc Vinh さんも昨年に続き本大会連続受賞を達成しました。司会を担当した3名の学生は日本語と英語を交えながら円滑に進行しました。

W 受賞：最優秀賞・学生賞

NGUYEN Ngoc Tu (ベトナム・4年)

“ BUILDING THE FUTURE WHERE WE LIVE TOGETHER”



優秀賞

★田中 優希 (日本・2年)

“STYLE MEETS RESPONSIBILITY”



審査員特別賞

★LE Quoc Vinh (ベトナム・2年)

“CLASS WITHOUT BORDERS”

★重富 彩花 (日本・2年)

“MORE THAN JUST SWEETS”



<他の出場者>

DAIBU Ari (日本2年)	MURAKAMI Minori (日本2年)
TOMITA Kaho (日本4年)	SASAYA Kokomi (日本2年)
YASUDA Ryo (日本4年)	NAKAZAWA Niko (日本2年)
NAKAMOTO Riino (日本2年)	
TRAN Thi Huong Giang (ベトナム1年)	

なご考えをお持ちですか。
宮竹先生…高次連携を活用し二部に分けたり、一般の部として「卒業生の部」も考えたりすると聴く楽しみもあるかと。またレベル別にA、Bと分けるとか、休憩時間に皆で英語の歌を歌う等、一体感も生まれると思います。

—— コンテストの内容について今後どのような
宮竹先生…英語スピーチコンテストも日本語弁論大会のように支援を加え、観客を増員して学生を知ってもらい、羽衣国際大学を知ってもらいたい。

—— 四大も20年を経て、進化しながら残される文化、また新たに生まれる文化があると思いますが、今後期待されるものは。
宮竹先生…英語スピーチコンテストも日本語弁論大会のように支援を加え、観客を増員して学生を知ってもらい、羽衣国際大学を知ってもらいたい。

優勝者の NGUYEN Ngoc Tu さんは挑戦を重ねる度に完成度がアップしているのが、観客にも感じられました。
宮竹先生…Tuさんは日本語上達も目を見張るほどです。彼は普段アルバイトをしながら勉学に励んでおり、さらに今回の英語弁論大会の前日まで岡山へ運転免許の合宿に行っていたので、歴代の学生のようにゼミで準備ができずオンラインで修正を手伝いました。

—— 優勝者の NGUYEN Ngoc Tu さんは挑戦を重ねる度に完成度がアップしているのが、観客にも感じられました。



羽衣国際大学
准教授
宮竹愛子

コンテストについて宮竹愛子先生に御意見をいただきました

「美羽」

於) 大阪マリオット都ホテル

今年度は短大1期から20期の小さな同窓会「よりあい」を開催しました。元人間生活学部の植田先生を講師にお招きし、参加者の年代に寄り添ったお話をわかりやすくご講演いただきました。その後、長寿のお祝いの贈呈やジェスチャーゲームで盛り上がり、会の終了後は多くの方が名残惜しく語らいを続けておられました。

講演 「わからんことは医者に聞け」 植田 福裕 先生



羽衣国際大学名誉教授
管理栄養士
日本糖尿病療養指導士
病態栄養専門管理栄養士

オープニングでは、植田先生が「高齢者にとって大切なこと」についてプロジェクトと資料を用いてご説明くださいました。栄養状態を良好に保つためには、食べ物が口から腸管を通ることが重要であることを強調され、食べにくい食材を食べやすくする調理のポイントを教えてくださいました。また、高齢者に多い、

- ・高血圧症(血圧140/90mmHgから)
- ・糖尿病(必要エネルギーと消費エネルギーのバランス・食物繊維・菓子・甘い飲み物)
- ・中性脂肪、コレステロール(炭水化物を組み合わせない・減塩)
- ・運動療法(中強度以上を目標に毎日合計30分以上週3日)

について講義され、「血液検査は定期的に、生活習慣で管理しても基準値に収まらないときは異常値を放置しないで医師の指示のもと薬物治療も考慮する。」と総括され、先生のお話は大変示唆に富み、非常に有意義なご講演となりました。

がんを防ぐための12カ条

- ・タバコは吸わないように
- ・他人のたばこのけむり避ける
- ・お酒はほどほどに
- ・バランスのとれた栄養をとる
- ・塩辛い食品は控えめに
- ・野菜や果物は不足にならないように
- ・適度に運動
- ・適切な体重維持
- ・ウイルスや細菌の感染予防と治療
- ・定期的ながん検診を
- ・身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
- ・正しいがん情報でがんを知る



よりあい一筆感想文

講演は我々の年齢にちょうど為になるお話でとてもよかったです。プリントを大切に帰って読み返したいと思います。美羽会の役員の皆様お疲れ様でした。楽しかったです。

植田先生の講演わかりやすい内容で良かったです。こんな低価格で料理の内容もゲームも楽しく幹事さんに感謝です。ゲームの「紙めくり」がもたつて、ロスタイム欲しかったです。



講演会、ゲームとても楽しかったです。食事パン以外はとてもおいしかったです。立食じゃなくてゆっくり食事できて同席の方々とも楽しくお話ができました。

講演の内容がすごく勉強になり今からの日常生活を意識しようと思います。お食事はすごくおいしかったです。ゲームも和気あいあいとグループで楽しめてうれしく思います。

植田先生のお話を参考に健康に気をつけてこれから過ごします。お食事とてもおいしかったです。ゲームも楽しくFテーブルの方々と和気あいあいと笑いにつつまれ楽しい一日になりました。有難うございました。





中川学長ご挨拶



濱下名誉会長挨拶
(短3期英文)



花川会長挨拶
(短13期英文)

よりあい

令和7年5月14日(水)

羽衣乙女の集い本当に楽しかったです。役員の皆様お疲れ様でした。



とても会いたかった同級生の皆様にお会いすることができてとても嬉しかったです。植田先生のお話し勉強になりました。心掛けたいと思います。



年代を分けての集まりはとても良いアイデアですね。美羽会への想いを強くしました。参加出来て今日に感謝いたします。皆様ありがとうございます。



同年代の方々と久々に楽しく過ごさせていただきました。料理も美味でした。テーブルの方とも楽しくお話できました。ありがとうございます。



本日は楽しい同窓会をどうも有難うございました。喜寿のお祝いを思いがけなく頂戴して嬉しく思います。皆様お元気で過ごしてください。



幹事の方々にお世話になりました。とても楽しい一日でした。八十歳を迎え記念日മായിいただき良き思い出になりました。

今日は色々とお世話になりました。いつもながらの心温まるメニュー感謝です。楽しい時間でした。久々に会った学友と楽しい時間、これからも元氣に出席できるだけでかけていきたいです。これからも美羽会の発展をお祈り致しております。

このたびはお誘い頂き、スイスから参加させて頂いて楽しく過ごす事ができました。ありがとうございます。久しぶりに学生時代思い出しました。Merci beaucoup



役員の皆様、本日まで何かとお世話頂き誠に有難うございました。久しぶりの友にも会えましたし、同窓のお仲間ともテーブルを共にし、楽しい時間を過ごせました。来て良かったです。有難うございます。



多くの感想をいただきありがとうございました。掲載できなかったご意見も今後の催しの参考にさせていただきます。

2025年度 活動報告

- ・美羽会前期総会
- ・会計監査
- ・羽衣国際大学新入生に会報 45 号
- ・美羽会説明リーフ配布
- ・会報 46 号最終校正、発送準備
- ・『よりあい美羽第1章』開催
- ・『よりあい美羽第2章』アンケート発送

4月
5月

- ・会報 46 号封入発送
- ・留学生に会報 46 号配布
- ・会報 46 号戻り整理、名簿変更
- ・会報 47 号作成作業開始

6月
7月

- ・秋卒業者に記念品贈呈 (マクドナルドカード)
- ・羽衣学園慰霊祭
- ・美羽宝生会 10 周年記念行事

8月
9月



大学祭



日本語弁論大会



クリスマスイルミネーション

- ・強化クラブ慰労会
- ・新卒評議委員説明会
- ・能楽鑑賞会
- ・学友会主催クリスマスイルミネーション
- ・新春パーティ

12月
1月



羽衣国際大学能楽鑑賞会参加

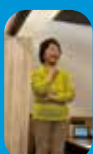


ファミリーコンサート

- ・第 20 回記念留学生日本語弁論大会
- ・第 7 回英語スピーチコンテスト
- ・第 62 回大学祭参加 (模擬店出店)

10月
11月

強化クラブ 慰労会



新春パーティ

9カ国から集まった留学生が色とりどりの民族衣装を身にまとい新春の会に参加され、会場は新年を寿ぐ華やかな雰囲気になりました。



卒業記念品贈呈

- ・会報 47 号発送準備 (区分け)
- ・羽衣国際大学卒業式
- ・卒業記念品贈呈
- ・卒業生に美羽会説明リーフ登録届配布
- ・ファミリーコンサート協賛

2月
3月

はじめまして

——美羽会の仲間になりました

日本とベトナムの架け橋に：



現代社会学部
現代社会学科
**ゲン
ゴック トウ**

大学に入学した頃の私は、ただ静かに勉強し、普通の学生として過ごせば十分だと思っていました。しかし、海外研修論の授業でベトナムについて発表する機会をいただき、それをきっかけに多くの友人とつながるようになりました。自分の考えを言葉にして伝えることの難しさと同時に、誰かに聞いてもらえる嬉しさを強く感じました。

その経験から、「せっかくの四年間なのだから、もっと挑戦してみたい」と思うようになり、オープンキャンパスのボランティアや留学生支援など、さまざまな活動に参加し始めました。日本語が思うように話せず落ち込む日もありましたが、学生の皆さんや先生方の温かさに支えられ、安心して勉強し、自分のペースで成長することができました。

一年生の頃は履修の組み方も分からず、難しい科目ばかり選んでしまい、GPA が下がって奨学金の機会を逃したこともあり、今思えば、その失敗も大切な学びであり、大学生活をより真実に考えるきっかけになりました。

将来は、自分が経験してきた苦労や気づきを生かし、留学生の生活や住まい、進路を支える仕事に携わりたいと考えています。日本とベトナムの架け橋として、誰かの不安を少しでも軽くできる存在になれば幸いです。



出会いと挑戦がくれた自信



現代社会学部
放送メディア映像学科
三上 舞彩

大学4年間で、私は多くの挑戦を通して自分を大きく成長させることができました。入学当初は、人前で話したり自分の考えを発信したりすることに強い苦手意識を感じていました。しかし、海外研修や、戦争体験者の方々から直接お話を伺い、その思いを小中学生に語り継ぐ「次世代の語り部」に参加したことで、大きな変化が生まれました。自分の言葉で感じたことや考えを伝える経験を重ねる中で、少しずつ自信を持てるようになりました。特に語り部活動では、体験者の思いを背負い、次の世代へ伝える責任を強く意識することと、「自分の言葉には意味がある」と実感しました。

また、専門分野である映像制作では、外国人観光客に向けた日本の魅力を伝えるPR動画の制作に力を入れました。言語や文化の違いを意識しながら、日本の魅力をどう表現すれば伝わるのかを考え抜いた経験は、相手の立場に立つて物事を捉える力を育ててくれました。多くの人と出会い、挑戦し続けた大学生活と自信を糧に、将来は映像の力で日本の魅力を世界へ発信し、社会に貢献していきたいと考えています。



2026 オープンキャンパス情報

中学校

文理特進Ⅰコース
文理特進Ⅱコース

第1回

5/23 AM 土

第2回

9/26 AM 土

プレテストを
体験しよう

① **8/29** PM 土 ② **10/31** PM 土

高等学校

文理特進Ⅰ類コース 進学コース
文理特進Ⅱ類コース

第1回

9/12 PM 土

第2回

10/17 AM 土

第3回

11/7 PM 土

第4回

11/28 PM 土

中学・高校共通イベント

入試個別相談会(学校見学会も同時開催)

12/5 AM 土 **12/12** AM 土 **12/19** AM 土

高校 放課後の
クラブ体験Week

9/5 土 **7** 日 **14** 日

お問い合わせ(入試広報部)

TEL 072-265-7561(代)



入試イベント
参加方法と詳細情報は
WEBでCheck!!



さらなる飛躍へ



羽衣学園 中学校
高等学校

令和8年度美羽会前期総会議事録

日時…令和8年4月29日(日) 11時より
場所…羽衣国際大学4号館2階 大会議室

出席者…役員・評議委員22名

委任状出席28名(総数93名)

相談役…中川学長・辻井事務局長

大学会報担当…桑原総務課課長

花川会長挨拶

報告として、本年会員数が二万人を超えた。

令和3年より休まず総会に出席された方々を5年節目の今回表彰する。

5年間の案内に対し出欠等の返信がなかった評議委員14名に継続意思確認の案内送付について。

濱下名誉会長挨拶

ここまで同窓会が持続できたのは皆様のお力と心の一つにして取り組んできた成果。働き方の変化により同窓会活動への参加が難しい時代になってきているが、母校を誇りに思える気持ちがあれば再び集う事ができると信じている。異なる年代が交わるこの場は学びや力になる貴重な機会。時代や価値観が変わっても若い世代の皆様が支えとなり様々な年代が集い、母校への誇りを共有できる場であり続けてほしい。



中川学長ご挨拶

四年制開学二十四年を迎え、今年は337名(3年次編入2名含む)が入学、過去最多となった。留学生比率は35%(学科により差あり)。

出身は東南・中央・南アジア、アフリカ他。

学長二期目就任。新学科「デジタルインテリジェンス学科」を文部科学省へ設置申請実施。

(令和9年度開設準備中)

辻井事務局長ご挨拶

新学科設置申請の審査対応進捗を随時共有し、同窓会向け説明機会を設定。

本年卒業生の就職率は98.1%(5/1現在)



【議案】

一、令和7年度活動報告

資料を基に説明がなされた。「第二十回記念留学生日本語弁論大会」「美羽宝生十周年」「よりあい」「慰霊祭」について。

二、令和7年度会計報告

・母校支援費増加要因として、従来の「参加人数が変動する卒業生パーティ支援」を「全卒業生に公平に反映するギフト券(マクドナルド2千円)配布」に変更した。

・特別会計への補填(大学において行

事の予定が未確定のため予算決定時よりも不足が生じた。)

・利息収入の表示が「雑収入」に内包され、分かりにくいので、次年度からの内訳化を求められた。

・横田会計監査より帳簿・伝票が適正であることが報告され承認された

三、令和8年度予算案・行事予定

・予想以上の物価高騰により、節約を継続し、必要経費は柔軟に執行。

・今年も大学祭でハンバーガー出店予定。

四、会報について

新コーナー

『はじめまして／美羽会の仲間になりました』今年卒業の2名が大学生活で頑張ったことを寄稿。

新学科申請情報と学生活動記事を編集・掲載。

五、その他

会報50号記念号編集にあたり、協力評議委員を指名。早期の企画・寄稿依頼・編集体制の拡充。





原 和輝



山中 花佳



NGUYEN
Thi Huong
Chinh



NGUYEN
Ngoc Tu



NGUYEN
Thi Nhuy

令和8年度予算

(R.8.4.1~R9.3.31) (単位: 円)

令和7年度決算

(R7.4.1~R8.3.31) (単位: 円)

区分	費 目	予 算 額
収入	会費 (23 期前受金)	5,840,000
	前年度繰越金	4,340
	合 計	5,844,340
支出	会報費	2,800,000
	活動費	1,576,340
	慶弔費	150,000
	母校支援金	820,000
	消耗品費	130,000
	通信費	80,000
	人件費	40,000
	通勤費	0
	雑費 (振込手数料等)	3,000
	備品費	40,000
	福利厚生費	5,000
	福利厚生積立金	100,000
	合 計	5,844,340

区分	費 目	予算額	決 算 額
収入	会費 (22 期前受金)	5,460,000	5,460,000
	前年度繰越金	34,673	34,673
	合 計	5,494,673	5,494,673
支出	会報費	2,109,673	1,851,421
	活動費	2,048,000	1,980,839
	慶弔費	100,000	125,627
	母校支援金	867,000	1,149,397
	消耗品費	122,000	113,585
	通信費	130,000	160,810
	人件費	50,000	39,325
	通勤費	0	0
	雑費	3,000	3,589
	備品費	20,000	25,740
	福利厚生費	5,000	0
	福利厚生積立金	40,000	40,000
	次年度繰越金	0	4,340
	合 計	5,494,673	5,494,673

〔特別会計 収入〕 (単位: 円)

項 目	金 額
催事準備金 (自販機売上金より)	550,000
運営費切崩し	700,000
参加費	623,500
一般会計	451,122
合 計	2,324,622

〔特別会計 支出〕 (単位: 円)

項 目	金 額
よりあい	
美羽宝生会 10 周年	
留学生日本語弁論大会 20 周年	
合 計	2,324,622

〔別途収入〕 (単位: 円)

自動販売機収益金	147,615	催事準備金に充当する
寄付金	115,000	運営準備金に充当する
合 計	262,615	

以上帳簿、伝票を詳細に監査しました結果、適正であることを認めます
令和 8 年 3 月 31 日
美羽会会計監査 西村慧星 横田璃来

寄稿募集! 「会報 No.50 記念号」への寄稿募集!

令和 11 年に会報「美羽」がいよいよ 50 号となります。
多くの皆様の声をお届けするため、3 年前である本年度より
始動いたします。

学生時代の想い出や同窓会に対する思いをいただきたくご
寄稿よろしくお願い申し上げます。

(美羽会 E-mail : miwakai@hagoromo.ac.jp)



よりあい第2章「秋の牛窓を楽しむ旅」中止 (短大21期～41期の皆様へ)

前号にて短大21期～41期の会員を対象に募集しました小さな同窓会「よりあい第2章 秋の牛窓を楽しむ旅」は申し込みが少数であったため、残念ながら催行中止といたしました。参加をご希望いただいた皆様には深くお詫び申し上げます。また催し等へのご参加を心よりお待ち申し上げます。

ご寄付お礼

(令和7.4.1
～令和8.3.31)

皆様の温かいご厚志を賜り心より感謝申し上げます。おひと方ずつお礼を申し上げるべきところではございますが、紙面を通じてのご挨拶とさせていただきます。

ご寄付に関しては、振込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。但し、正式な領収書をご希望の方はお手数ですがご連絡をお願いいたします。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

合計額 十一萬五千圓

●ご寄付くださった方々(敬称略)

【理事長】 松井 基純 (強化クラブ4年生)	黒田 啓子 (短5期)
【元教員】 慰勞会(厚志)	今村 智香子 (短13期)
野口 聡子 (元教員)	花川 嘉美 (短13期)
【卒業生】 濱下 恭子 (短3期)	一筆 佳子 (短15期)
萩原 さき子 (短3期)	宮崎 和子 (短15期)
久次 千保子 (短4期)	匿名希望 (短26期)
町谷 恭子 (短4期)	南 知恵 (短31期)
匿名希望 (短4期)	匿名希望 (短31期)
	廣川 すが子 (短41期)
	見通 知行 (短41期)
	堺 みほ (短46期)

表紙(作者紹介)

◆表紙画タイトル

「アデリーペンギン、エンペラーペンギン、キングペンギン」
◎古谷嵐さんのプロフィール

一九九九年生まれ
二〇二〇年よりYELLOWにて制作活動を始める。
色鉛筆やクレパスを使い鳥やなじみのある景色など描く事が多くぶつくりした鳥が彼らしい表現の一つになっている。

□ご寄付のお願い

同窓会と母校を繋ぎ、会の発展のため日々活動しております。今年もご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

寄付金は郵便振替用紙(青色)にてお願いいたします。

・口座番号

0090000329342

・口座名

羽衣国際大学・羽衣学園短期大学同窓会美羽会
・一口 一、〇〇〇円
卒業年 または期、会員番号、コース等もご記入をお願いいたします。

□会員番号の見方

(宛名右下の番号)
・学年の通し番号

・期生

・学科

・短—短大 四—四大

・卒業年

・元号 (S昭和 H平成 R令和)

例

S 41 短 文 01 001

お詫びとお願ひ

昨年10月頃より美羽会への直通電話が繋がりにくくなりご迷惑をおかけしました。今後FAXは使用できませんので電話、郵送、Eメールにてご連絡をお願いいたします。(裏表紙に連絡先記載)

●会員数

20,081 名
(内留学生 1,211 名)

●準会員数

1,215 名
(内留学生 342 名)

●特別会員

在職する専任教職員及び退任教職員

あなたの“のびしろ”が、きっと広がる。



世界を感じる大学。
羽衣国際大学
HAGOROMO UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES

HAGOROMO OPEN CAMP²⁰²⁶US

SCHEDULE

来場型で実施

事前予約制

6.14^{SUN} / 9.6^{SUN} / 10.4^{SUN} / 12.13^{SUN}

開催時間 10:00 - 13:00 | 受付時間 09:30 - 12:30 | ランチタイムなし

7.12^{SUN} / 7.19^{SUN} / 8.1^{SAT} / 8.9^{SUN}

開催時間 10:00 - 15:00 | 受付時間 09:30 - 14:30 | ランチタイムあり

大学HP



OC事前予約



〈お知らせ〉上記の日程以外にも「WEBOC / 学科限定OC(来場型) / 留学生限定OC(来場型)」を開催します。詳細は公式HPをチェックしてください。

現代社会学部

デジタルインテリジェンス学科(仮称)

現代社会学科

放送・メディア映像学科

AIシステムコース
ゲーム・メディアデザインコース
デジタルクリエイションコース

経済・経営コース
国際英語コース
観光コース
スポーツコース

放送・メディアコース
映像コンテンツコース

人間生活学部

人間生活学科

食物栄養学科

〔管理栄養士養成課程〕

食クリエイイトコース
〔製菓衛生師養成課程〕
ファッションデザインコース
住空間デザインコース
こども教育コース

医療栄養コース
フードデザイン・食育コース
スポーツ栄養コース
グローバル栄養コース

※2027年4月開設予定(仮称・設置認可申請中)。学科名を含む記載内容は全て予定であり、変更となる場合があります。



羽衣国際大学
HAGOROMO UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES

文系?理系?いえいえ、デジタル系。

FLY DIGITAL.

羽衣国際大学 デジタルインテリジェンス学科

AIシステムコース / ゲーム・メディアデザインコース / デジタルクリエイションコース

2027年4月開設予定(設置認可申請中)

学科・コース名は
すべて仮称

学校法人羽衣学園創立100周年・羽衣国際大学開学20周年記念事業 寄付金募集趣意書

寄付金募集要項(概要)

名 称	学校法人羽衣学園創立100周年・羽衣国際大学開学20周年 記念事業募金
目 的	周年事業を記念とした学園の教育研究活動の振興と充実
目標金額	2億円
募集期間	令和4(2022)年4月1日～ 令和9(2027)年3月31日(5年間)
募集対象	趣旨にご賛同いただける個人、法人および団体 (在学生、卒業生、教職員、学園関係者、企業、一般、一般有志など)

お申込みについて

お申込金額

個人の方 1口 1万円
(1口未満のご寄付もお受けいたします)

法人・団体の方 1口 10万円
(1口未満のご寄付もお受けいたします)



使途

学園の教育研究活動の振興・充実を図るための教育環境の整備に充当

中学校・高等学校

- 施設設備整備
(食堂・特別棟など)
- グラウンド人工芝化



大 学

- 施設設備整備
(DX事業など)



遺贈・相続財産によるご寄付

「人生の集大成に社会貢献したい」「自身の財産を社会に役立てたい」「地域の未来を担う羽衣学園の学生・生徒に財産を使いたい」というご希望を持つ方からの遺贈寄付の問い合わせが増えております。遺贈による寄付をお考えの方は羽衣学園 (072-265-6200) までお問い合わせください。

申込み方法

- インターネット …… 学園ホームページの「寄付金募集」専用サイトから
- ゆうちょ銀行 …… 指定の「払込取扱票」(振込用紙)で郵便局から

寄付者の特典

この記念事業募金にご寄付いただいた方全員のご芳名を「寄付者芳名録」に記載いたします。広報誌等にご芳名を掲載させていただく場合がございます。掲載を希望されない場合は、寄付金お申込みの際に振込用紙等でその旨をお知らせください。

税制上の優遇措置

ご寄付いただきました金額につきましては、税制上の優遇措置を受けることができます。寄付金の入金確認後、領収書と寄付金控除にかかる証明書をお送りいたします。詳細につきましては、学園ホームページの「寄付金募集」専用サイトをご確認いただくか記念事業事務局までお問い合わせください。

ふるさと納税で羽衣国際大学を応援

高石市ふるさと納税(個人)

<高石市ふるさと寄附金における大学等支援事業補助金制度>がスタートしました。

※ふるさと納税による税制上の優遇制度対象

高石市ふるさと納税【ふるさとチョイス】

高石市にお住まいの方も
ご利用いただけます。



高石市企業版ふるさと納税(法人)

※高石市外に本社がある企業が対象

<企業版ふるさと納税とは？>

「企業版ふるさと納税」は国が認定した地域再生計画に位置付けられている地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで軽減されます。

【企ふるオンライン】



【ふるコネ】



寄附額



【問い合わせ先】

高石市総合政策部まち未来戦略室地域創生課

電話 072-275-6138 MAIL pr@city.takaishi.lg.jp

【具体的な事業内容】

寄附金は、羽衣国際大学の教育活動の振興と充実のために大切に活用させていただきます。

(1) 学生修学支援事業

- ・ 国際交流事業や留学生の修学支援事業の推進
- ・ 緊急支援給付型奨学金制度の充実等

(2) 教育環境の整備

- ・ ラーニングコモンズ(図書館、地域の交流拠点等)の整備
- ・ 各施設のバリアフリー化を含む施設設備の改修

学生の活動紹介

2025 年度 海外研修派遣先、派遣期間、派遣人数

派遣先大学名等	派遣期間	派遣人数
サウス・ピュージット・サウンド・コミュニティカレッジ (アメリカ) South Puget Sound Community College	8月24日～ 9月7日	8名
釜山外国語大学 (韓国) Busan University of Foreign Studies	8月4日～ 8月22日	4名
フィリピン・スタディツアー (フィリピン) 認定 NPO 法人アクセス	3月4日～ 3月11日	3名
弘光科技大学 (台湾) Hungkuabg University	8月4日～ 8月16日	2名
国際学生リーダーシップシンポジウム (マレーシア) University Scholarship Leadership Symposium	8月4日～ 8月9日	2名
グリフィス大学 (アイルランド) Griffith College	2月9日～ 2月27日 1月26日～	1名 1名
サンフランシスコ州立大学 (アメリカ) San Francisco State University	8月11日～ 9月5日	1名

1. グリフィス大学 (アイルランド) 交換留学スタート

2025 年 6 月に協定校のグリフィス大学 (アイルランド) と交換留学協定を締結しました。本学では初めてのヨーロッパの交換留学先です。2025 年度は、グリフィス大学から 2 名 (アイルランド・フランス) の交換留学生を受入れ、6 週間の映像制作プログラムに取り組み、最後日には完成した映像作品の試写会を行いました。本学からはグリフィス大学へ学生 1 名が 1 年間の交換留学生として派遣され専門分野について現地学生と学んでいます。



2. フィリピン・スタディツアー

2026 年 3 月、認定 NPO 法人アクセスが実施しているフィリピン・スタディツアーに本学学生が参加しました。プログラムでは、フィリピンの都市スラム、農漁村コミュニティを訪問し、戦争と歴史についても学びました。現地の人々の生の声に耳を傾け、肌で感じた学びは、一生忘れられない体験となったようです。



3. サウス・ピュージット・サウンド・コミュニティカレッジ (SPSCC)

SPSCC は、アメリカのワシントン州オリンピアに位置する協定校です。2012 年の協定締結以降、学生交流をはじめとする多様な取り組みを通じて、良好な関係を築いてきました。2025 年度は、SPSCC から 14 名の学生が本学を訪れ、本学の学生と京都や奈良、大阪万博を訪問し、交流を深めました。本学からは 8 名の学生が SPSCC のサマープログラムに参加し、英語学習をはじめ、ハイキングやカヤックなどオリンピアの自然も楽しみました。



地域とつながる学び — プロジェクト演習の取り組み

プロジェクト演習とは、地域の企業や団体などから提案された課題に対し、学生が主体的に取り組み、解決していく力を養う課題解決型学習 (Project Based Learning: PBL) です。実社会と連携した実践的な学びを通して、課題発見力や企画力、コミュニケーション力の向上を目指しています。2025 年度後期に 2 つのプロジェクトを実施、2026 年度前期には 1 つのプロジェクトが進行しています。これらのプロジェクトについてご紹介いたします。

◇プロジェクト演習① 地域と若者の絆 (きずな) プロジェクト「湯浅の特産物を活用したメニュー&商品開発」 2025 年夏季集中・後期
和歌山県「ふるさとミライカレッジ事業」の地域プロジェクトとして、湯浅町をフィールドに、地域資源の魅力を活かした商品開発やイベント発表、情報発信を通じて、都市部の若者と地域との新たな関係づくりを目的とした取り組みを実施しました。学生たちは現地でのフィールドワークを通じて、みかん栽培の過程で成熟前に間引き (摘果) され、廃棄されているみかんがあることに着目しました。この未利用資源を有効活用できないかと考え、食物栄養学科の教員と学生が試行錯誤を重ね、「摘果みかんジンジャーシロップ」を開発しました。本商品の開発にあたっては、地元農家の皆さまや事業者の方々の多大なご協力をいただき、地域と連携した実践的な学びの機会となりました。完成後は、各種イベントに参加し、試飲や販売を通じて商品を紹介するとともに、湯浅町の魅力を広く発信しました。本プロジェクトの活動内容は、プロジェクトに参加した学生によって 1 本の動画にまとめられています。ぜひ QR コードよりご覧ください。



◇プロジェクト演習② フリーペーパー制作による大学周辺の地域再発見と魅力発信 (堺市西区、高石市羽衣エリア) 2025 年後期
大学周辺の地域資源を学生の視点で取材・発信するフリーペーパー「はごプロ!」を真生印刷株式会社との連携により継続して制作しており、5 年目を迎えました。「私たちのまちの Hero's Interview」をテーマに、地域で活躍する方々へのインタビュー取材を行い、その思いや取り組みを通じて地域の新たな魅力の発見と発信しました。学生たちは企画・取材・編集に加え、誌面イラストの制作にも主体的に取り組み、その成果として『はごプロ! vol.5』が完成しました。

◇プロジェクト演習③ 堺大空襲 次世代の語り部育成 (3 期) 2026 年前期

堺市市民人権局ダイバーシティ推進部人権推進課との連携によるプロジェクト。戦争体験者 (ピースメッセンジャー) の高齢化により、語り部活動の継続が難しくなっている現状を受けて始まりました。学生たちは、戦争体験者から直接お話を伺い、その証言をもとに原稿や資料を作成します。そして、堺大空襲の歴史や平和の大切さを小・中学生に伝える「次世代の語り部」として活動します。本取り組みは今期で 3 期目を迎え、学生たちは、戦争体験者の思いを受け継ぎ、各地で語り部として活動を広げています。



①地域と若者の絆
プロジェクト



②フリーペーパー制作



③堺大空襲
次世代の語り部育成

HA ☆ GO 祭

開催日: 10月31日(土)、11月1日(日)

大学祭テーマ

「彩」(読み:colorful)

羽衣国際大学の学生たちが自分の持つ個性 (カラー) で学生生活に彩を加え世界へと羽ばたいて欲しいという願いが込められています。卒業生の皆さま、ぜひお越しください。※変更の可能性あり



強化クラブ

平素は学生のスポーツ活動に対して、ご支援を賜り感謝申し上げます。4つの強化指定クラブは、「文武不岐の実践により人間力を高める」という方針のもと、日々練習に励んでいます。

2025 年度後半の主な戦績

● 硬式野球部

2部昇格!

近畿学生野球連盟3部秋季リーグ戦優勝、入れ替え戦勝利



● 女子ソフトボール部

2部A昇格!

関西学生ソフトボール連盟2部B秋季リーグ戦2位、入れ替え戦勝利



● 女子駅伝部

関西学生対校女子駅伝競走大会(6区間 36.2km) 14位(2時間 17分 23秒)



● バドミントンクラブ

関西学生秋季リーグ戦 男子3部1位入れ替え戦敗退3部残留、女子1部6位
全日本インカレ 女子団体、個人シングルス・混合ダブルス出場
西日本インカレ シングルス(女子) 3位、混合ダブルス 3位
大阪学生選手権(団体) 男子1部4位、女子1部 優勝(2連覇)
大阪学生選手権(個人) シングルス(女子) 優勝、準優勝 ダブルス(女子) 3位



強化クラブの卒業生&入学生

・学生アスリート就職率 100%!

本学から2人目のプロ野球選手誕生
土壁 一輝 関西独立リーグ
「大阪ゼロロクブルズ」



・2026 年度強化クラブ入部者



女子駅伝部監督がアプリ開発

「女子長距離選手のためのランニングフォーム分析」スマートフォンやカメラで撮影した動画から、関節の動き・姿勢・安定性をリアルタイムで測定。“なんとなく走る”から、“根拠のある走り”へ。AIが走りを可視化し、理想のフォームへ最短距離で導きます。競技力向上を目指すすべてのランナーへ。新しいトレーニングのカタチをぜひ体感してください。詳細は、女子駅伝部HPにてご確認ください。

<https://hgmeکیدen.vercel.app/>



大学スポーツ

最優秀賞受賞

UNIVAS AWARDS2025-2026 ルーキー・オブ・ザ・イヤー(女子)

信濃明梨 現代社会学科2年 テコンドー

小学1年生からテコンドーを始め、全日本テコンドーブムセ選手権大会では、2019年から出場する階級で6年連続優勝。全日本強化指定選手(U30規定強化A)。初出場の2025年度第19回全日本学生テコンドー選手権大会ではブムセ女子有段の部で優勝。武道精神のもと黙々と鍛錬する忍耐強さと、周りと協調しながら物事を進める傾聴姿勢があり、その精神力と行動力で今後の国際舞台での活躍が期待されます。



競技スポーツ副専攻

学生アスリートに応援する!
競技スポーツ副専攻

学生アスリートのための学習サイクル



学業もスポーツも本気で!
デュアルキャリアの実現

各クラブの
最新情報は
コチラ



硬式野球部
Instagram



強化クラブ
HP



競技スポーツ
副専攻 HP



大学スポーツ
Instagram



女子ソフトボール部
Instagram



女子駅伝部
Instagram



バドミントンクラブ
Instagram

教育後援会

緊急修学支援奨学金

支給対象学生数：6名
総支給額：85万円

教育後援会からの寄附金を原資とした「緊急修学支援奨学金」この奨学金は、羽衣国際大学に在籍する学生で修学を継続する
意思が明確でありながら、大規模な自然災害、感染症のまん延、
その他これらに準ずる事象の影響により家計が急変し、公的支援
制度を活用してもなお経済的理由により修学な困難な学生を
対象に、支給を通じて学生の修学を支援することを目的として
います。

2025年度は、6名の学生に対して総額85万円が大学を通じて
支給されました。
「緊急修学支援奨学金」の募集はWebポータルを通じて前期及び後期に学生
に案内されています。

日帰り研修旅行

実施日：2025年6月28日（土）
研修先：京都友禅染体験と庭園鑑賞
参加者：30名

教育後援会会員同士の交流と研鑽を目的と
したバス旅行。中川学長、石川副学長にも
ご参加いただき、京都で友禅染体験と庭園鑑賞を通じて保護者
同士で交流を深めました。
丸益西村屋さんでの友禅染体験では、手順について説明を受け
た後各自が植物や動物、模様など好きな絵柄を選んで友禅染に
よるトートバッグづくりにチャレンジし、
素敵な旅のお土産が出来上がりました。智
積院でのランチタイムには役員企画による
行きのバス内で実施されたビンゴ大会の商
品が授与され、日本庭園を散策して楽しみ
ました。



ファミリーコンサート

開催日：2026年2月14日（土）
会場：羽衣学園講堂
演目：バレエに出会う2
出演：カンパニーでこぼこ

2025年度のファミリーコンサート
では、昨年度に引き続き、神戸を
中心に活動しているバレエカンパニー「カンパニーでこぼこ」
のみならずにご出演いただきました。2年目の公演となる今年
はバレエの「踊り」「物語」が軸となる演目を企画。前半はガ
ーシュインのジャズナンバーにのせて大人っぽい「Who Cares?」
を、後半はコミカルな表現がちりばめられた「リーズの結婚」
を上演しました。
大学近隣をはじめ、約700名のみなさまに足をお運びいただき
「踊りも衣装もきれいでうっとりしました」「子供たちが楽しく
バレエにふれあえてよかったです」「今、バレエを習っていま
すが、大きくなったらこんな風に踊れる様になりたいです」など
、うれしい声をたくさん頂戴しました。
終演後には役員とともに出演者のみなさまにも「あしなが育英
会」「能登半島沖地震（日本赤十字）」の募
金活動にご参加いただき、先ほどまで舞台
に立っていたダンサーに子どもたちが憧れ
のまなざしで感想をお話している姿が印象
的でした。



教育後援会総会

開催日：2026年6月6日（土）
会場：羽衣国際大学
出席者：教育後援会正会員（在学生保護者）、役員、大学教職員
教育後援会の活動報告と2025年度決算および2026年度予算
審議を目的として、教育後援会総会を開催しました。
第一部では、根来教育後援会会長から2026年度の活動方針と
役員を参加者にむけて紹介し、会計担当より役員会にて審議・

承認された2025年度決算と2026年度予算を報告しました。
第二部では、株式会社キャリアタスの濱田未来様より「現代の就
職活動とは～お子様との『就活』の乗り越え方～」と題して、
学生たちの就職を取り巻く環境の変化や保護者のかかわり方につ
いてご講演いただきました。
後半には、清水共通教育センター長から羽衣国際大学の海外研
修や留学支援について紹介いただき、ご参加された会員のみな
さまはメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

2025年度 羽衣国際大学教育後援会決算報告

区分	科目	2025年度予算額(A)	2025年度決算額(B)	備考
収入	会費	10,150,000	10,050,000	日本人学生868名・留学生274名 合計1,142名
	行事参加費	280,000	210,000	研修旅行参加費 ※7,000×30名
	寄付金収入	10,000	30,000	ファミリーコンサート協賛寄附金
	雑収入	100,000	149,330	学研災傷害保険掛け金戻り等
	受取利息	2,000	7,976	普通預金・定期預金受取利息
	前年度繰越金	2,422,550	2,422,550	現金+普通預金+積立金定期預金
	合計	12,964,550	12,869,856	
支出	総会	450,000	421,226	教育後援会総会・役員懇親会
	研修旅行	550,000	542,344	日帰り研修旅行
	教育懇談会	0	0	
	ファミリーコンサート	1,200,000	1,263,468	出演料、広告宣伝費、経食代等
	小計	2,200,000	2,227,038	
	慶弔費	25,000	25,000	見舞金・お悔やみ代等
	会議費	25,000	45,356	役員会用お茶・お菓子等
	分担金	100,000	110,750	同窓会会報「美羽」分担金
	クラブ活動助成費			クラブ活動助成費（4-5月）、クラブ登録料、学外施設利用料
	国際交流活動助成費			国際交流活動への支援
学生援助費	卒業生パーティ助成費	6,500,000	6,063,311	卒業生パーティ費用補助、秋卒業生記念品費
	学生用備品費			学生関連共通備品、学生食堂の運営補助
	傷害保険助成費			学研災傷害保険・賠償責任保険掛け金
	留学生生活助成費			日本語弁論大会
	奨学金助成費	1,000,110	1,000,110	奨学金
	学園行事助成費	70,000	65,577	羽衣学園慰労会分担金
	役員保険料	9,745	9,745	教育後援会役員傷害保険掛け金（2025.4.1～2026.3.31）
	事務費	80,000	68,518	役員会案内封筒印刷、事務用品、郵送費等
	雑費	10,000	820	学研災保険適徴収返金
	合計	10,019,110	9,616,225	
差引残高（次年度繰越金）		2,945,440	3,253,631	

ファミリーコンサート募金活動報告

2026年2月14日に実施したファミリーコンサートでの来場者からの募金を2026年2月18日に各団体に寄付しました。
日本赤十字令和6年能登半島地震災害義援金 22,453円
あしなが育英会 41,764円

次年度繰越内訳	
現金	61,404
普通預金	1,983,586
定期預金など	1,208,641
合計	3,253,631

上記、決算書について出納帳、元帳等を元に監査した結果、予算超過分も必要な追加行事を行ったものであり、未消化分も次年度繰越支払資金に残るか、別途預金として別管理するかの形状の違いであることが判明し、不正な点が無かったことをここに報告します。
2026年3月7日

2026年度 羽衣国際大学教育後援会予算

区分	科目	2025年度決算額(A)	2026年度予算額(B)	備考
収入	会費	10,050,000	10,120,000	日本人学生844名・留学生336名、合計1,180名
	行事参加費	210,000	280,000	研修旅行参加費 ※7,000×40名
	寄付金収入	30,000	10,000	
	雑収入	149,330	100,000	学研災傷害保険掛け金戻り
	受取利息	7,976	8,000	普通預金・定期預金受取利息
	前年度繰越金	2,422,550	3,253,631	現金+普通預金+積立金定期預金
	合計	12,869,856	13,771,631	
支出	総会	421,226	450,000	教育後援会総会・役員懇親会
	研修旅行	542,344	550,000	日帰り研修旅行
	教育懇談会	0	0	
	ファミリーコンサート	1,263,468	1,300,000	出演料・広告宣伝費・経食代等
	小計	2,227,038	2,300,000	
	慶弔費	25,000	25,000	見舞金・お悔やみ代金
	会議費	45,356	50,000	役員会用お茶・お菓子
	分担金	110,750	120,000	同窓会会報「美羽」分担金
	クラブ活動助成費			クラブ登録料、学外施設利用料
	国際交流活動助成費			国際交流活動への支援
学生援助費	卒業生パーティ助成費	6,063,311	6,800,000	卒業生パーティ費用補助、秋卒業生記念品費
	学生用備品費			学生関連共通備品、学生食堂の運営補助
	傷害保険助成費			学研災傷害保険・賠償責任保険掛け金
	留学生生活助成費			日本語弁論大会
	小計	6,063,311	6,800,000	
	奨学金助成費	1,000,110	1,000,000	奨学金
	学園行事助成費	65,577	70,000	羽衣学園慰労会分担金
	役員保険料	9,745	9,025	教育後援会役員傷害保険掛け金（2026.4.1～2027.3.31）
	事務費	68,518	80,000	役員会案内・封筒印刷、事務用品、郵送費、郵送手数料
	雑費	820	10,000	
	合計	9,616,225	10,464,025	
差引残高（次年度繰越金）		3,253,631	3,307,606	

各種証明書の発行について

卒業生の方が転職、進学、資格取得等のために各種証明書が必要な場合には、本学ホームページから「証明書交付願」を印刷、所要事項を記入し、手数料相当額の切手・返送用の切手・身分証明書のコピーを同封の上、教務支援課へ郵送してください。なお、直接来学される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

※詳細はホームページをご覧ください。

申込先：羽衣国際大学 教務支援課

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1

TEL：072-265-7102 受付時間：月～金・9時～17時

※土・日・祝日・夏季・年末年始休業期間、開学記念日は受付いたしません。

◆発行手数料（各1通につき）

卒業証明書		300円
成績証明書		300円
司書資格修得証明書		300円
学芸員資格修得証明書		300円
英字	卒業証明書	500円
	成績証明書	500円

※郵送の場合は別途郵送料が必要となります。
※その他の証明書についてはお問合せください。



ご退職（敬称略）
『長い間お疲れ様でした』
現代社会学科・教授 吉村 宗隆
放送・メディア映像学科・教授 早岡 英介
食物栄養学科・教授 植田 福裕
事務局長 吉村 太造
総務課 柿本 真佐子
共通教育開発センター 肖 歡
(令和8年5月31日現在)

お悲しみ（敬称略）

短大元教授 佐々木 隆爾
短大1期 橋本 文子（尾崎）
短大1期 王子畑 知子（泉谷）
短大2期 岩月 淑子（井上）
短大5期 横尾 道子（船奥）
短大11期 笹谷 幸子（阪口）
短大11期 武智 美恵子（吉田）
短大36期 堀内 慊代（堀内）
短大25期 森田 育未（伊東）
短大36期 川上 尚美
短大6期 和田 喜美子（網代）
令和8年 令和7年
謹んでご冥福をお祈りいたします。
故人とご縁のある皆様の中で、
慰霊祭にご参列を希望される方
は、事前に大学までご一報いた
だけますと幸いに存じます。
(連絡先… 大学TEL 072-265-7000)

●慰霊祭のご案内 日時：9月16日（水）14時～ 場所：学 園 講 堂

※卒業生で亡き恩師・同窓の御霊に拝礼をご希望される方はご参加いただけます。

編集後記

今号では、美羽会を代表する記念行事を皆様にご報告することができました。

令和11年には、美羽50号を発行することになりますので、記念号として多くの皆様からご寄稿を賜りたく、すでに準備を進めております。

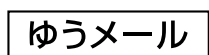
皆様のお力添えは、何より大きな支えとなります。より充実した記念号をお届けできるよう編集者一同、力をあわせて努めてまいりますので、何卒ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<美羽会 編集担当一同>

卒業生のみなさまには、平素より本学へ多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

羽衣国際大学では4月に343名（3年次編入生含む）の新入生を迎え、令和8年度の学生生活がスタートいたしました。現在、文科省に「デジタルインテリジェンス学科」の設置認可申請を行っており、認可後には地域社会に貢献できる情報人材を育成する新学科が令和9年度から現代社会学部に誕生します。最新情報は公式サイトでご確認ください。

<大学 桑原>



◎ご家族の方へ

ご本人様がこの住所にお住まいではない場合は、お手数ですが、
ご本人様に転送をしていただきますようよろしくお願いします。

◎住所変更について

同窓会員の皆様の中で、住所の変更があった方は、同窓会事
務局までお申し出ください。

羽衣国際大学・羽衣学園短期大学同窓会

美 羽 会

(事務局開室日：月・水・金)

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1

TEL (072)265-3091

E-mail : miwakai@hagoromo.ac.jp

ホームページ : <https://www.hagoromo.ac.jp/miwa/>

差出人：(株) サラト 〒670-0948 姫路市北条宮の町172

返還先：羽衣国際大学内 サラトメールセンター

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1